

平成 30 年 2 月 平和台図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 2 月 23 日（金） 16 時 20 分から 17 時 00 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長 ※光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 平和台図書館指定管理者（シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社）（以下「平」） 平和台図書館長、同館業務従事者（2）、本社スタッフ（1）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光）12 月にあった「障害者専用駐車場利用者への職員の注意」に対する苦情について。 →（平）障害者マークを車に付けていたかはわからないが、障害者の子供を送って来た利用者に対し、カウンターの職員が気付かずに「駐車場は障害者しか使えない」旨、声を掛けてしまった。</p> <p>（光）試験期間中に会議室で騒ぐ中学生の利用は現在どんな状況か。 →（平）2、3 週間前に近隣の中学校に行き、学校でも話をしてもらうようお願いした。数日前に学校から全校生徒に話をしたとの連絡があったが、中学校が特定できているわけではないので、今後も注視していく。</p> <p>（光）利用者用のコインロッカーは利用があるか。 →（平）ヘルメットや買い物袋等で使われていることが多い。鍵を持って帰ってしまった方が以前おり、連絡をとって返してもらったことがある。閉館時には必ず、使用されたままのロッカーがないよう確認している。</p> <p>（光）1 月にあった敷地内での猫の餌やりに係る苦情について →（平）図書館敷地内で誰かが猫に餌をあげているようで、注意書きを掲示している。昔に比べたら猫の数は減ったと思うが、直営時代から同様の問題があったようだ。</p> <p>② 一般事業について</p> <p>（光）12 月開催の「こどもにとってのライフスキル（生きる力）」について →（平）子育て世代の悩みや不安の解消を目的とした事業。講師の飛騨での活動を基に、スポーツを通して子供たちが持っている力を自然に引き出すこと、生きていく上で様々なことを乗り越えていくために必要なもの等をテーマに、参加者の質問に対応しながら講演が行われた。問題意識を持った方々の参加が多く、最初は不安な様子の参加者の方も後半になると顔つきが変わり、安心して聞いている様子が印象的だった。</p> <p>（光）1 月実施の「福袋」について →（平）とても人気の事業で、一般向け 40 袋、児童向け 40 袋、青少年向け 5 袋を準備し、児童向けは 1 日目、青少年向けは 3 日目、一般向けは 4 日目で全て貸出しとなった。福袋に同封した平和台図書館オリジナルのしおりも好評で、カウンターでも配布した。</p> <p>（光）1 月開催の「新春平和台寄席」について →（平）落語を通じて言葉や物語の楽しさを知ってもらい、読書に親しむきっかけづくり</p>

になればと実施した。とても人気があり、申込み開始から4日ほどで定員いっぱいとなった。演者の方は若い方が研究熱心で、参加者からの質問にユーモアを交えながら即答していた。

(光) 1月開催の「第二回 西洋美術史講演会」について

→ (平) ベルギー王立美術館公認解説者を招き、画家のフラゴナールの絵を紹介し、画家の意図や時代背景についてユーモアを交えてわかりやすく解説いただいた。絵は知っているても画家の名前は知らない方も多く、周知ポスターの絵を見て興味を持たれる方が多いようだった。次の開催を楽しみにしている声もあり、テーマは決まっていないが来年度も実施したいと考えている。

→ (光) 町会回覧板を見て、事業に参加する方も多くいるようだが、事業の際は毎回、回覧板での周知を行っているのか。

→ (平) 定員が少ないもの等は回覧板を回さなかったり、一部回したりと調整をしているが、40名規模のものは基本的に回している。ただ、人気の事業については、かなり早めに回さないと定員が埋まってしまうのでタイミングが難しい。町会からは申し込みを抽選にしてほしいとの声もあるが、今のところ先着順にしている。

(光) 1月開催の「バリアフリー映画会」について、障害のある方の参加はあったか。

→ (平) バリアフリー映画会は、弁士による音声ガイドや、セリフと状況説明の「字幕」付きの映画の上映会。1名、視覚障害の方が参加し、弁士の状況説明を聞かれていた。今回は、沖縄美ら海水族館を舞台にした映画で、セリフより情景が多く、弁士の説明とよく合っていて音声ガイドが活きた映画だった。子供も興味がある内容だったようで、親子での参加もあった。

③ 児童サービス事業について

(光) 12月、1月の学校支援の状況は。

→ (平) 通常の貸出しや返却以外は調べ学習の支援が主になっており、団体貸出しを促す案内を行った。支援校で「本の福袋」を行っている学校はない。

→ (光) 福袋をしている学校からは、子供たちが本に興味を持ってくれた話も聞いているので、是非、学校に紹介してみしてほしい。

(光) 家庭での読書推進向上に向けた考えについて

→ (平) 学校内では、支援員のアイデアを使って、ゲーム感覚で本が読めるようなイベントを続けていきたい。図書館では、夏に行った、図書館の資料を使って問題を解いていく「しらべるクイズ」など、楽しく本を読めるイベントを実施していきたい。

(光) 12月開催の「ふゆのおたのしみ会」について

→ (平) 毎年行っている人気の事業で、パネルシアターを行った。乳幼児も含め多くの参加があったが、混乱なく実施できた。パネルシアターを盛り上げるため、図書館スタッフが前座で人形劇を行ったほか、展示本を紹介し、参加者に簡単なプレゼントを配付した。プレゼントは布の絵本を作るボランティアの方に毎年作成していただいている。